

豊中市まちづくりにぎわい事業助成金 ～令和元年度助成事業～

●豊中市まちづくりにぎわい事業助成金とは…
都市機能誘導区域の活性化に効果のある事業を募集し、評価によって助成金の交付決定を行う公募型の助成金制度です。



●●都市機能誘導区域で実施される8つの事業を助成しました●●

<p>① 螢池 麻田花笠太鼓祭りを盛り上げる会 (螢池麻田花笠太鼓祭り推進委員会) 助成額 23.5万円</p>	<p>② こども演芸会～伝統芸能はじめの一步その2 (おかまち演芸会製作委員会) 助成額 30.0万円</p>	<p>③ みんなでつくる市民文化祭 2019 (とよなか市民文化の会) 助成額 15.0万円</p>	<p>④ こどもハロウィン・ストリート (服部阪急商店街振興組合) 助成額 22.5万円</p>
<p>太鼓祭りは螢池駅周辺で数百年続いています。存続が危ぶまれています。昨年、一昨年に続きチラシのポスティングや新聞折込み等の広報活動を行ったところ、祭りへの参加人数は増え、スムーズに運営を行うことが出来ました。</p>	<p>大神楽、漫才、玉すだれ、花笠音頭、ひとり相撲、篠笛、落語と様々な芸能を来場者に楽しんでもらえました。 事前のワークショップには障害者とヘルパーさんが参加し伝統芸能にふれる機会となりました。 また、おかまち・まちづくり協議会の協力で作成した「能勢街道クリアファイル」は好評で、地元の歴史に関心を持ってもらうきっかけとなりました。</p>	<p>今回は、歌のワークショップを発表会内で行い、客席と出演者が一体となって楽しめました。 また、運営作業を通して、出演団体間に交流が生まれ、初参加団体も2団体加わり、さらなる発展の可能性が見えました。</p>	<p>子ども対象のハロウィンイベントを実施することで、思い出作り、親子の交流、地域住民の交流、地域団体間の交流を深め、地域への愛着意識の醸成を図ることができました。 また、子育て世代の参加を呼び込み、本イベントで商店街へ足を運んでもらうきっかけとなり、服部地域のにぎわい、地域コミュニティへの活性化につながりました。</p>
<p>⑤ 螢池・みんなで歌おう会 (ふれあい音楽実行委員会) 助成額 19.0万円</p>	<p>⑥ カレーとブルース (カレーとブルース実行委員会) 助成額 19.1万円</p>	<p>⑦ おかまちナイトミュージックフェスタ 2019 (岡町ナイトミュージックフェスタ実行委員会) 助成額 30.0万円</p>	<p>⑧ 災害時帰宅困難者体験訓練 (災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会) 助成額 30.0万円</p>
<p>計4回の講座を行ったなかで、昨年度の参加者の方が、今年度初参加される方のフォローを自然と行われている姿が見受けられました。 1人でも多くのそういった人が、地域に根付くために、今後なにか展開できるのではないかと考えられました。</p>	<p>本事業をきっかけに、多くの方に豊中駅前の個性溢れる、魅力的なお店を知ってもらうことができ、また音楽にも気軽にふれてもらうことにより、まちに賑わいをもたらすことができました。 今後はより豊中らしいイベント充実などを目指し、参加者を増やしていきたいと思えます。</p>	<p>商店街で夜に屋外コンサートを開催。多くの来場者に気軽に音楽を楽しんでもらえ、賑わいづくりになりました。今回は、地域の子どものダンス披露を行ったため、来場者が増えました。 今回初めて商店街が開催しているフードフェス出店団体に協力してもらい、より賑わいを生み出せました。</p>	<p>駅頭啓発を実施することにより、中央環状線・新御堂筋線を中心とした沿道において、市民に対し災害時の帰宅方法について考える機会ができました。 今後は、沿道における自治会の参加を増やし、マンネリ化しないよう継続していこうと考えています。</p>

※各団体が事業内容をまとめた実績報告書から抜粋しています